

ほけんだより

令和3年 11月発行 (No.4)



朝夕は冷え込む季節となりました。子どもは外気温の影響を受けやすいため、衣服はこまめな調節をしましょう。また、規則正しい生活で体を守り、予防接種や手洗いなど感染予防対策をとって過ごしましょう。

感染症情報

三光保育園・幼稚園感染症情報(11/1~)

手足口病、感染性胃腸炎(嘔吐下痢症)、発熱での欠席がありました。

今後はインフルエンザや胃腸炎などに注意が必要です。栄養・休息を十分にとり、免疫力を高めましょう。

お子様のちょっとした変化や気になることがある場合は、連絡帳や登園時に教えていただけると、体調不良の際に参考になりますので、ご協力お願いいたします。

佐賀県 感染症の上位疾患(11/1~11/7)

()内は佐賀中部保健所管内の疾患順位

1位:手足口病

2位:感染性胃腸炎

3位:ヘルパンギーナ(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)

【手足口病】

報告数は減っていますが、流行発生警報は継続中です。タオルの共用を避け、手洗いの励行で感染予防に努めましょう。

11/10付公開:佐賀県感染症情報センターHPより

休に関する記念日

11月8日は「いい歯の日」、11月12日は「いい皮膚の日」。
記念日に普段の歯みがきや保湿を見直してみましょう。

11月8日 ^{1 1 8} いい歯を守ろう

仕上げみがき、していますか?



まずは子どもが自分でみがくのを見守り、最後は仕上げに大人がみがいてあげましょう。

奥歯のすきまや歯の裏側など、自分ではみがきづらい部分までしっかり汚れを落とし、元気な歯を守ります。

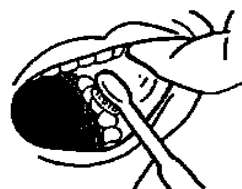


痛くないコツ

上の前歯の中央と上唇をつなぐひだ(上唇小帯^{じょうしんしょうたい})に歯ブラシが当たると痛みます。指で押さえましょう。

口を引っばらない

奥を見ようと口の端を引っばるのではなく、指でほおを内側から押しましょう。奥歯の側面が見やすくなります。



11月12日 ^{1 1 1 2} いい皮膚を守ろう

保湿ケア、していますか?



気温が下がると湿度が低くなるため、肌がかさかさしやすくなります。お風呂上がり、登園前にしっかり保湿して、肌のかさつきやトラブルを防ぎましょう。

^{1 1} いい子を守ろう

毎日ギュッとしていますか?



子どもはいつでも「いい子の日」!
毎日1回ギュッとして、心の元気をチャージしましょう。

嘔吐物等のついた衣類等の持ち帰りについて

ご理解・ご協力をお願い

園では、お子様の嘔吐や下痢で服などが汚れた場合、園内の感染流行を防ぐために、洗わず、密封してお渡ししています(保健所の指導により)。家庭内感染につながる可能性もあるため、廃棄が望ましいといわれていますが、廃棄されない場合は、以下の手順でご家庭にて消毒や洗濯をしていただくよう、ご理解・ご協力をお願いします。

【用意する物】

- 使い捨て手袋
(ビニール袋を手につけ、ゴムで止めても構いません)
- 使い捨てマスク
- ペーパー又は、いらない布
- ビニール袋
- 消毒液(塩素系漂白剤等)
- 使い捨てエプロン(あれば)



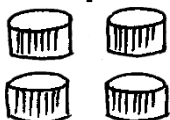
『★塩素系消毒液』 の作り方

製品濃度6%の場合の例



水1リットル

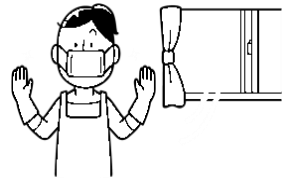
+



塩素系消毒薬
原液を
ペットボトルの
キャップ4杯
(約20ml)

手順

- ①処理する人以外は近づかないようにし、窓を開け、換気をしながら作業します。
- ②手袋・マスク・エプロンを身につけます。
※袋の開封時にウイルスを吸い込んで感染する場合があるので、十分に気をつけましょう。
- ③持ち帰ってきものに、取り除けそうな嘔吐物や便が付着しているときには、ペーパー等で取り除き、ビニール袋を二重にして密封して捨てましょう。
- ④以下のⅠ. Ⅱ. どちらかの方法で処理をします。
Ⅰ. 85℃以上の湯で1分間以上浸します。
Ⅱ. ※色物は漂白されるので注意！
『★塩素系消毒液』を作り、まんべんなくいきわたらせてから10分浸します。
- ⑤その後、他の衣類と分けて洗濯してください。洗濯方法は通常と同じでかまいません。
- ⑥処理後の手袋は、汚染されたものが内側になるように丸め込み、汚染側が付着しないようにもう片方を外します。すべての処理用品・使い捨て着用品をビニール袋で二重に包み密封して廃棄します。
- ⑦丁寧に石けんを使って手を洗い、うがいをしましょう。



感染予防対策を続けましょう！



人混みを避ける

ウイルス感染は人のくしゃみやせきのしぶきを吸い込むことで感染します。人の多いところでは感染のリスクが高くなります。



手を洗う

ウイルスのついた手で口や鼻、目などを触れるとそこからウイルスが入り込みます。外から帰ったとき、食事の前など、こまめに手を洗いましょう。



マスクをつける

マスクは、せきやくしゃみのしぶきが防ぐほか、無意識のうちに口や鼻を触るのを防ぐ効果があります。

備えていますか？

インフルエンザ

の予防接種について

インフルエンザの予防接種は、多くの自治体で10月から始まります。小さな子どもは2回接種が必要です。流行シーズン前に十分に免疫を上げておくためには、遅くとも11月上旬に1回目の接種を終わらせておきましょう。

